

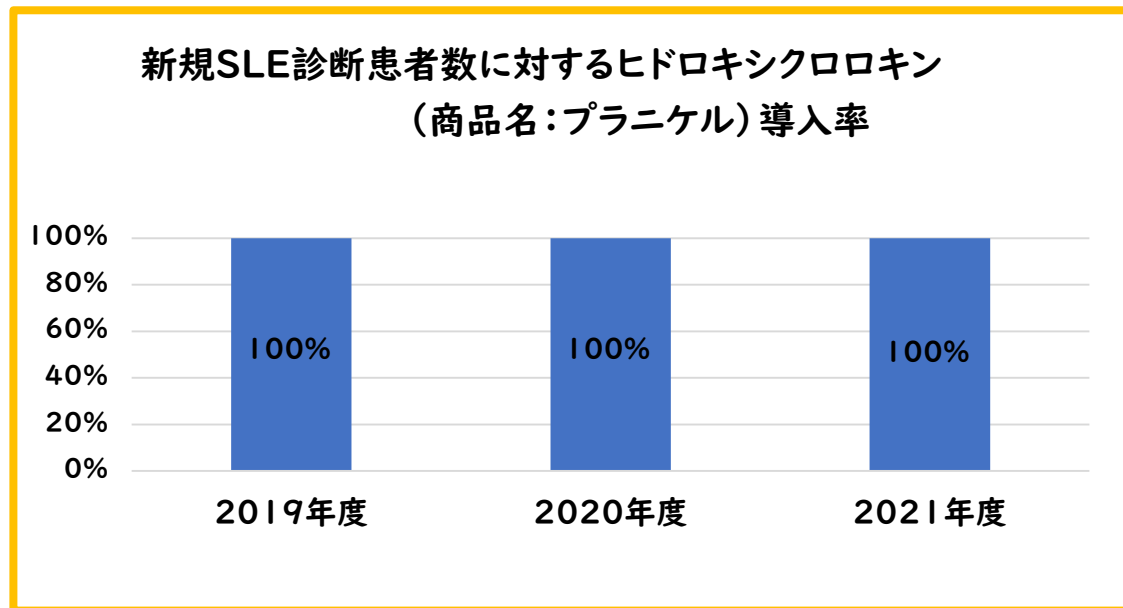
3 新規SLE診断患者数に対するヒドロキシクロロキン導入割合

膠原病内科

◆解説◆

全身性エリテマトーデス（SLE）の新たな免疫調節薬ヒドロキシクロロキンが2015年より日本でも承認され、免疫あるいは炎症調節薬としてその効果が期待されています。ヒドロキシクロロキンは、SLEに対する標準的な治療薬と位置付けられ使用が推奨されています。そのため標準的な治療が行われているかをみるための指標の1つとなり得ます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

最新のガイドラインで多彩な効果について言及されているヒドロキシクロロキンの導入率の高さは、近年のSLE治療指針に沿った医療を提供している表れとも考えられます。薬剤開始前及び開始後には定期的な眼科検査が必須とされており、眼科の先生方の多大なご協力のもとでスムーズな診療科連携が図られていることも示しています。合併症や副作用等で投与を断念するケースもありますので、100%を維持する必要はないと考えますが、今後もある程度の高い導入率が望まれます。

◆定義◆

新規SLE診断患者数(分母)に対するヒドロキシクロロキン(商品名: プラケニル) 導入患者数(分子)の割合